

津山市バイオマス産業都市構想の概要

岡山県津山市、人口 約10.7万人、面積 約2.8万ha

構想の概要

「産業振興と雇用の創出」、「美しい自然と快適空間の掲載」の具体的な事業展開のため、事業化プロジェクトを策定し市におけるバイオマス活用の将来像の実現を目指す

1. 将来像

- ① バイオマス資源を軸とした環境にやさしく、持続可能な社会の実現
- ② 新たな産業の創出による雇用創出と森林産業の活性化の実現
- ③ 災害に強い低炭素社会の実現

3. 目標(10年後)

バイオマス利用率

- ① 廃棄物系バイオマス
家畜排せつ物の堆肥 95%(現在90%)、建設発生木材の燃料利用 80%(0%)、刈草の堆肥化 100%(90%)
- ② 未利用バイオマス
圃場残さの堆肥化 80%(12%)、果樹剪定枝の燃料利用 80%(0%)、芝草の堆肥化75%(0%)、枯れ木の燃料利用50%(0%)、林地残材の燃料利用43%(0%)
※()は現状の利用率

5. 実施体制

- ・津山市が主体となり、「津山市バイオマス産業都市構想推進委員会(仮称)」を設置し、全体の進捗管理、情報発信等を行う
- ・推進委員会と津山市の調整機関として、庁内会議を設置し、推進委員会との連携を図るとともに、国、県、近隣市町村及び関係機関との調整を図る

2. 事業化プロジェクト

- ① 未利用間伐材の搬出・活用プロジェクト
・間伐材の集積基地を整備、木質チップの製造を行う等
- ② 木質バイオマス発電プロジェクト
・市内温泉施設に木質チップボイラーを設置、未利用間伐材から製造したチップで発電
- ③ 木質パウダーの製造・活用プロジェクト
・木質パウダー製造施設を整備、燃焼ボイラー燃料として活用
- ④ 木質バイオマスのマテリアル利用プロジェクト
・木質パウダー等を原料に、ウッドプラスチック製品、エコ断熱材等を製造

4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果:82億円(津山市産業連関分析シートで試算)
- ② 事業化プロジェクトによる雇用の創出 30名
- ③ 温室効果ガス削減 1,338t-CO₂/年削減
- ④ バイオマスエネルギーの地産地消率 電気14.3%、熱30.7%
- ⑤ 災害時の燃料供給 チップ生産量 5,900t/年
- ⑥ 未利用間伐材搬出量 7,000t/年

6. その他

津山市第4次総合計画(H18)、津山市成長戦略(H26)、津山市環境基本計画(H19)、津山市地球温暖化対策推進計画(H21)、津山市地域新エネルギービジョン(H22)、津山市再生可能エネルギー導入推進実行計画(H25)、津山市森づくり基本計画(H27)

